

校長室より

「天空高き」



第40号



平成24年10月10日

第4回楽学祭を終えて・・・

運動会に続き、第4回楽学祭を無事終えることができました。いつも話していることですが、楽学祭の意義は、感性を研ぎ澄まして、感動を味わうことです。

文化部の活動は、日頃の地道に積み上げていくものが中心になります。

吹奏楽の演奏は5月の定期演奏会と比べ、一人ひとりの音に力強さを感じました。金賞を受賞した理由がよくわかりました。

英会話部のスピーチコンテストは年々レベルアップしていますが、観客が少なく少しさみしかったです。長唄三味線部の演奏会は音楽室でありました。このクラブは全国の高校でも珍しいと思います。部員数は少ないですが、演奏技術と演出は、一見の価値があります。

茶道部も毎年お茶会を図書館一階で開いています。せっかくの機会ですので、次回は趣のある茶室で一服どうですか。

美術部の展示・販売は賑わっていました。書道部のパフォーマンスも年ごとに創意工夫を重ねていますが、その様子を撮影して観客の方に見てもらえる工夫を次年度は期待します。展示に関しては解説等があればもっと作品が活きるのではないのでしょうか。新聞・文芸部は壁新聞を掲載していましたが、観客に見てもらえる工夫があればと思いました。文芸部の作品集である翰林等もっと多くの人たちに目を通してもらいたいと思いました。



「勇なるかな、勇なるかな、勇にあらずして何をもって行なわんや」

細井平洲（江戸儒学者）



放送部の自主映画は力作で、保護者のみなさんも絶賛されていました。理科同好会の理科実験はもっと多くの人に見てもらえるような工夫があればと思いました。

クラスの部ではS1-1の「ウォーリーを探せ」が楽学大賞を受賞しましたが、各クラスの一生懸命な取り組みは次年度も期待したいと思います。

ショートムービーは非常にレベルが高く、楽しませていただきました。

びっくりアートでは、S3-2のミニチュア模型には本当にびっくりさせられました。

今年のフード&ドリンクはF3-2が朝早くからカレーを仕込んでいました。そのほかのクラスも創意工夫して、手間暇をかけたフード&ドリンクにしてもらいたいと思います。

ダンス甲子園は毎年のことですが、一番盛り上がります。私も楽しみにしていますが、さらに磨きを掛け、本校独自のオリジナルなダンス甲子園にしてください。

生徒会のみなさんは、この楽学祭のために、多くの時間とエネルギーを費やしてきました。2日間の楽学祭でも裏方に徹し、気配りと心配りそして、思いやりをもって生徒のために奔走してくれました。そのおかげで昨年に比べ、随分スムーズに進行しました。あらためて、敬意を表したいと思いますし、次年度はさらに進化した楽学祭が開催できることを期待します。



「学ぶ」とは「まねる（真似る）」こと



「学ぶ」と「まねる」はもともと同語源で、どちらも「真に似せること」を表しているそうです。

『みなさんは、今の時代に留学に来ている未来からの留学生です』（元慶應義塾大学石川忠雄学長の言葉）

本校は今年、「国際教育理解」と「環境教育」の2つを提言してユネスコスクールに加盟しましたが、ユネスコ「二十一世紀教育国際委員会」は、①Learning to know（知ることを学ぶ）・知識 ②Learning to do（為すことを学ぶ）・実践 ③Learning to live together（共に

生きることを学ぶ）・共存 ④Learning to be（人生をいかに生きるかを学ぶ）・哲学の4つをみなさんに示しています。

グローバル化社会では、Label（学歴）ではなく Level（人物）が評価されます。「高水」を卒業したかでなく、「高水」で何を身に付けたが、評価されます。

天高く馬肥ゆる秋になってきました。二十一世紀を背負うみなさんが、「元気・やる気・本気」で授業、ホームルーム活動、学校行事や部活動を通して一段とたくましく成長してくれることを期待します。

花のある生活

秋の季節の深まりとともに、梨や柿、リンゴなど果物のおいしい時期になりました。

中庭では、中学1年生が大切に育ててくれたサルビアやマリーゴールドの鮮やかな赤色や黄色の花弁が、私達の目を楽しませてくれます。

中学・高校生の皆さんにとって、音楽は生活なくてはならないものになっていると思います。音楽は、時に勇気づけてくれたり、傷ついた心を癒してくれます。音楽は魔法のような不思議な力を持っています。同じように、

大切に育ててきた花壇の植物が花を咲かせる様になると、今までの苦勞がウソのように喜びとなります。その喜びが、周りの者にも派生して、心を和ませてくれます。花も音楽と同じような不思議な力を持っていますね。



「第一歩」 後藤静香

十里の旅の第一歩
百里の旅の第一歩
同じ一歩でも覚悟が違う
三笠山に登る第一歩
富士山に登る第一歩
同じ一歩でも覚悟が違う
どこまで行くつもりか
どこまで登るつもりか
目標がその日その日を支配する。

「考えよ」 後藤 静香

もっと落ついて考えよ
あまりそわそわしすぎる
太陽をみよ
月をみよ
星をみよ
花をみよ
お前のように浮き浮きしている者が
どこにある
せめて一時間でも、じっとしておれ
ただ一つのことでも
本気に考えてみよ

中・六講演会

平成 17 年に第 1 回を開催して今回で第 8 回目になります。

今回の講師は昭和 61 年に本校を卒業後、お茶の水女子大学（家族関係学専攻）卒業し、現在は編集家として活躍されている、山中登志子先生です。

山中先生のプロフィール等については、右記をみてください。

講演題目：「ラッキーもアンラッキーもすべてチャンス！」

人は、経験してないことには鈍感なところがあります。いかに「想像力」をもって生きられるか、そして、気づいたとき、どういった行動ができるかだと思っています。聞いていただく方に、中学生もいますので、アンラッキーなことを見方によっては、ラッキーになるということなど、わたしの経験から、お話できたらと思っています。

（送られてきたメールより）

現在山中先生は「アクロメガリー」という病気と共闘されています。先生から送られてきた冊子「患者さんの治療のおはなし～アクロメガリーと下垂体の病気」につきましては、必ず、読んでから講演を聴いてください。

母校で講演することになりました！（10月1日ブログより）

神無月です。今月は、わたしはいろいろ出歩くので、出逢いも多い日々となりそうです。

まず、来週、母校の中学・高校で講演をすることになりました。校長先生からお声をかけていただきました。

中学と高校一貫の学校を卒業しましたが、中学と高校の思い出はまったく違ったもので、それは、やはり病気になったことが大きいのですが（当時はまだわからず）、後半はからだもだるいし、容貌も変化し・・・とほんとうに暗いくら～い高校時代でした。おひとりさまを楽しんだとも言えますが、あんまりよき思い出ももてないまま、クラス会にも出たこともありません。

卒業アルバムで嫌な思い出、担任への思いなども闘病記にあれこれ書いているのだけど、テレビや闘病記も見ていただいた上での依頼ということでした。

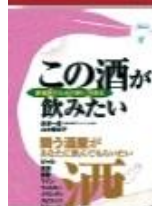
何か、新しいことにつながっていくんだろうなと思いました。

違いを認めあう社会、想像力の持ち方とか、いろいろ語りたいことはありますが、「ラッキーもアンラッキーもすべてチャンス！」ということで、お話をします。

考え方ひとつで、どちらにもなるんです。わたしも年とともに気づいたわけです。

生徒のみなさん全員で 360 人くらいで、わたしはお母さんくらいの年齢だろうな・・・

先生のみなさんともかなりのご無沙汰もあるから、再会も楽しみです。



「これは事件です！」

世にない本を企画&執筆プロデュース。
伝えたいのは、生活者目線で見、
心で感じたことそのまま。



山中登志子

Yamanaka Toshiko

編集家

1966年山口県岩国市生まれ。お茶の水女子大学(家族関係学専攻)在学中、女子学生による女子学生のためのホニの就職情報誌「私たちの就職手帖」を編集。『就職ジャーナル』(リクルート)編集部に籍後、フリーランス編集者&シナリオライター、8年務。『週刊金曜日』(金曜日)編集部に籍。200万部ベストセラー『買ってはいけない』企画・編集・執筆。『なっとく!』シリーズでよりよい商品を提案。占い&ヒーリングスペース『新宿御苑』プロデューサー、化粧品プロデューサー、高プロデューサー、外見オンチ応援カウンセラー。

連絡先
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-2 サンクチュアリ新宿御苑アネックス201
tel. 03-6273-2547 fax. 03-6273-2495
e-mail yamanaka@e-jade.co.jp
公式ブログ「これは事件です!」 <http://yamanaka-toshiko.cocolog-nifty.com/>



執筆、企画&編集
プロデュースの
主な作品

暮らし(化粧品、酒、髪、牛乳、水)
「買ってはいけない」/「この酒が飲みたい—愛酒家のための酔い方読本」(共著)/「なっとく!のシャンプー選び」(共著)/「プチ事典 読む化粧品」/「化粧品成分事典」小澤王春著/「ケタイ天国電磁波地獄」『幸せな牛からおいしい牛乳』中洞正著/「育毛物語—実録潜入ルポ」双田譲治著/「なっとく!のビール・酒選び」(共著)/「なっとく!の水・浄水器選び」(共著)

見た目、美人論&ブス論
「天然ブスと人工美人 どちらを選びますか?」

医療
「外見オンチ闘病記—顔が変わる病「アクロメガリー」」

メディア
「金曜芸能—報道される側の論理」/「編集者からの手紙—「週刊金曜日」と8年」/憲法を読もう会編『読む日本国憲法』

占い&スピリチュアル
「第2の江原を探せ!」(共著)/「最強の恋愛を手に入れる占いナビ」/「東大に入る名前」幻通著/「開運易占い」駒村慧瑠著/「お金を引き寄せる7つの法則」佐藤人志著/「天国からの手紙」武本昌三著

シナリオ
NHK広島放送局 ラジオドラマ「橋の上の再会」

その他
「つきたい化粧品&つけない化粧品」美肌づくり応援ポスター